



<<<HPはこちらへアクセス！

令和元年12月20日  
坂東地域農業改良普及センター発行  
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

## 第7回坂東地域アグリセミナー広域講座「種苗会社現地研修会」を開催しました

11月14日、「種苗会社現地研修会」を開催し、管内及び県西各普及センター管内の新規就農者・若手農業者12名が参加しました。

見学先の種苗会社研究ほ場では、西洋野菜を中心にネギやトマト等の様々な品種の作物や農業資材が展示されていた他、西洋野菜を用いて作られた加工品や料理の試食・販売が行われていました。



特に西洋野菜は、直売の他レストランチェーンでの需要が

伸びており、契約販売する事例も増えていることから、今後の拡大が期待されています。受講生にとって普段目にしない品目の情報を見聞きすることができ、新品目導入等、様々な刺激を受け充実した内容となりました。

普及センターでは、今後もアグリセミナーを通して新規就農者を支援していくとともに、販路拡大や先進事例の情報を発信していきます。



## 坂東市の岩井4Hクラブが「岩井将門まつり」で野菜直売活動を行いました

11月10日、坂東市の「岩井4Hクラブ」が、第46回坂東市岩井将門まつりにて野菜直売活動を行いました。本活動は、「自分たちのつくった野菜の販売を通じて岩井産の農産物の魅力を広く発信する」ことを目的に、平成14年から行われています。今回は、はじめて猿島4Hクラブと協力し、例年になくバラエティ豊かな品揃えとなりました。

当日は天気に恵まれ、多くのお客様が足を運び、クラブ員から野菜の特徴やおいしい食べ方の説明を受けながら、新鮮な野菜を購入していきました。また、県外からのお客様へ坂東市産の野菜をアピールする機会にもなりました。



# 農業には若さがある

今回は古河市の沼田光平(ぬまた こうへい)さんをご紹介します。沼田さんは就農2年目で、キャベツ、レタス、ブロッコリーなどの露地野菜を、直売所を中心に出荷しています。

## ■ どうして就農しようと思ったのですか？

一就農前は、トラックの運転手をしていました。実家が農家であり、私は長男であったので、以前からいずれ継ぐ意識はありました。農業は覚えることが多いので、早いうちから学んだ方が良いと思い、昨年就農しました。

## ■ 今頑張っていることや心がけていることはありますか？

一生産から出荷を通して、品物にキズ等がないか注意しています。消費者目線で、きれいな野菜を届けられるように意識しています。

## ■ 農業の魅力、大変なところはなんですか？

一外での作業は解放感を感じますし、自分の裁量で行えることも魅力です。また、直売所を中心に出荷しているので、お客様と直接交流できることも楽しいです。大変なことは、作物の特性、農薬、肥料等々覚えることが多く、またそれらの知識を用い、状況に応じて対応する必要があることです。

## ■ これからの目標はなんですか？

一農業簿記を勉強し、経営を把握・分析できるようになりたいです。また、将来的には栽培面積を増やすなどして、収量を上げる取り組みにも挑戦していきたいです。

## ■ 最後に一言お願いします。

一農業は、野菜の出来やお客様の反応を見て、少しずつ自身のスキルがステップアップしていることを実感できるので、やりがいがあります！



## 農作物の盗難に

# 注意!



### 収穫物や農機具は…

>畑に放置しない



>倉庫で施錠管理



## 1月 土壌診断実施日のお知らせ

1月 8日(水)

1月22日(水) を予定しております。

- ・個人の農家の方が対象です。
- ・受け付けは先着順となりますので、お早めにお持ちください。電話等での予約は行っておりません。
- ・1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次の診断日となります。
- ・1人あたり5点以内の持ち込みでお願いします。

## 編集後記

あっという間に今年も終わりです。これからの時期はクリスマスや正月等のイベントがあり、街は陽気な音楽やイルミネーションに彩られてワクワクしますね。今年もお世話になりました。(札)